

6 北部日本海底棲生物調査

技師 沢 田 兼 造

〃 〃 富 永 武 治

東奥丸 船長 高 井 英 和

I, 調査目的

本県日本海北部漁場における底びき網漁場開発と底棲魚族の分布, 移動状況を把握し, 底びき網漁業の発展に資する。

II, 調査内容

(1) 調査期間 昭和44年1月18日～昭和44年3月4日

(2) 調査場所 本県日本海北部海域

(3) 調査項目

(イ) 魚種別月別漁獲高

(ロ) 月別漁獲推移

(ハ) 操業海区別, 水深別漁獲高

(4) 調査方法 試験船東奥丸(38.35トン)により1艘びき底びき網漁法にて調査。

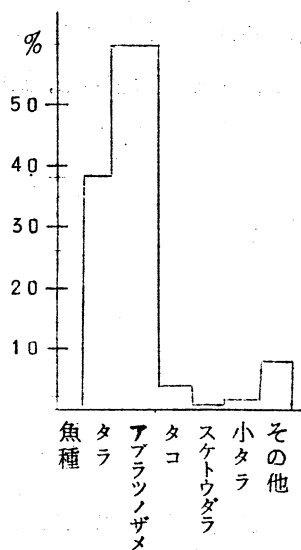
III, 調査結果

本年度調査期間中における操業日数は14日で, 曳網回数41回(内曳網不能回数0回)総漁獲量は8,234.6Kgであつた。調査期間中における漁獲物の主な魚種組成並びに魚種別漁獲高は, 第1～5表及び第1, 2図のとおりである。

第1表月別魚種別漁獲量

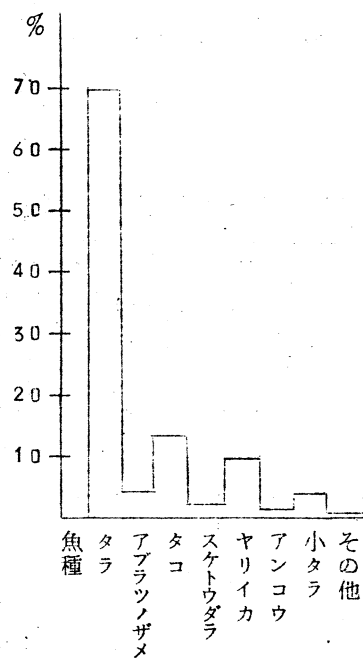
魚 種 別	1 月	2 月	3 月	計	%
タ ラ	2,664 Kg	467 Kg	Kg	3,131 Kg	38.2
アブラツノザメ	4,400	24.1	15	4,439.1	54.0
タ コ	163	84	95.5	247	3.0
ヒ ラ メ				95.5	1.2
スケトウダラ					
小 タ ラ					
ヤ リ イ カ					
ア ン コ ウ					
そ の 他	51				
計	7,508 Kg	658.1 Kg	138.5 Kg	8,234.6 Kg	100%

第2表 東奥丸魚種別漁獲率（1 月分）



魚種別漁獲高累計	
魚種	数量
タラ	2,680 Kg
アブラツノザメ	4,384
タコ	163
スケトウダラ	75
小タラ	85
その他	51
計	7,438 Kg

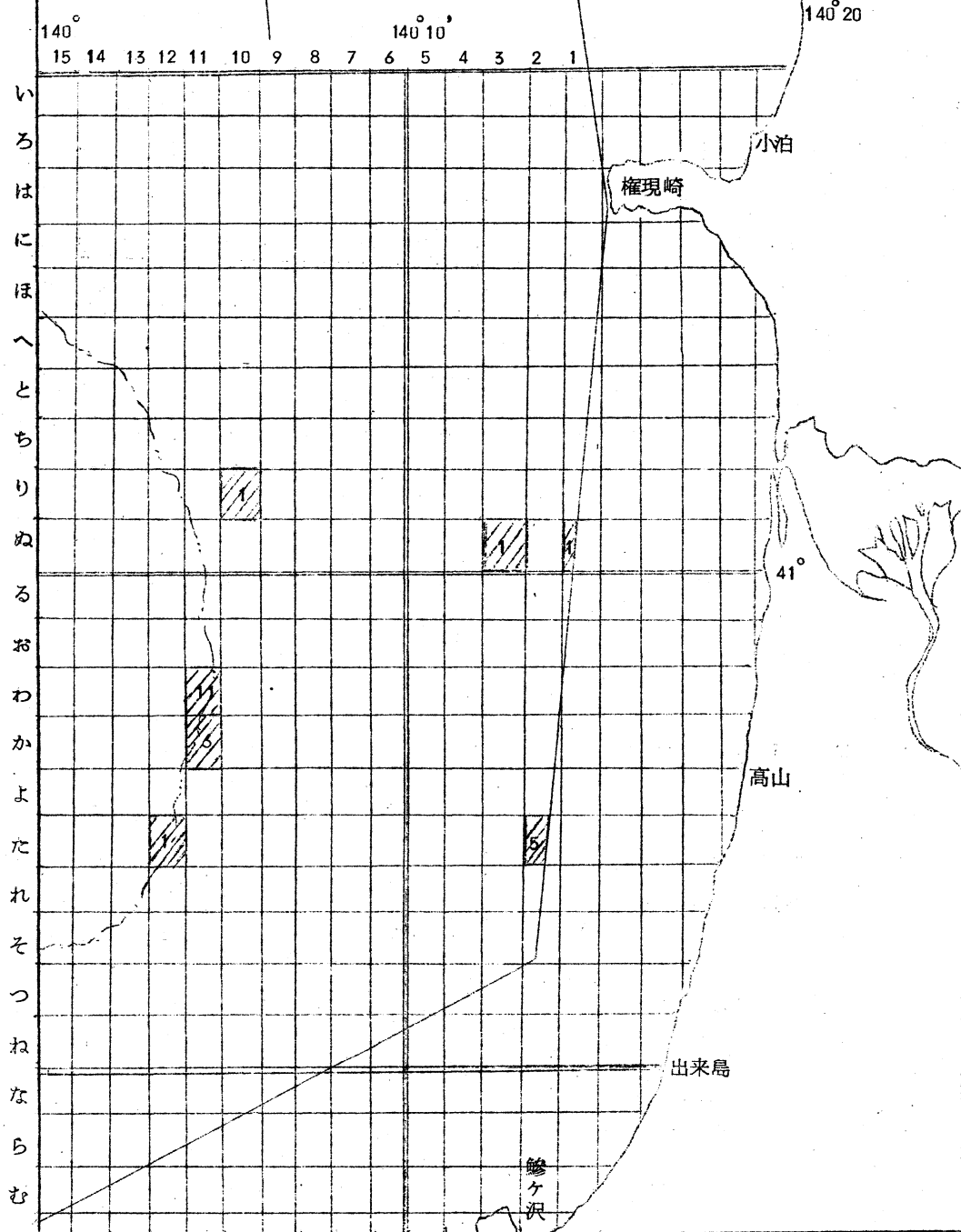
第3表 東奥丸魚種別漁獲率（2 月分）



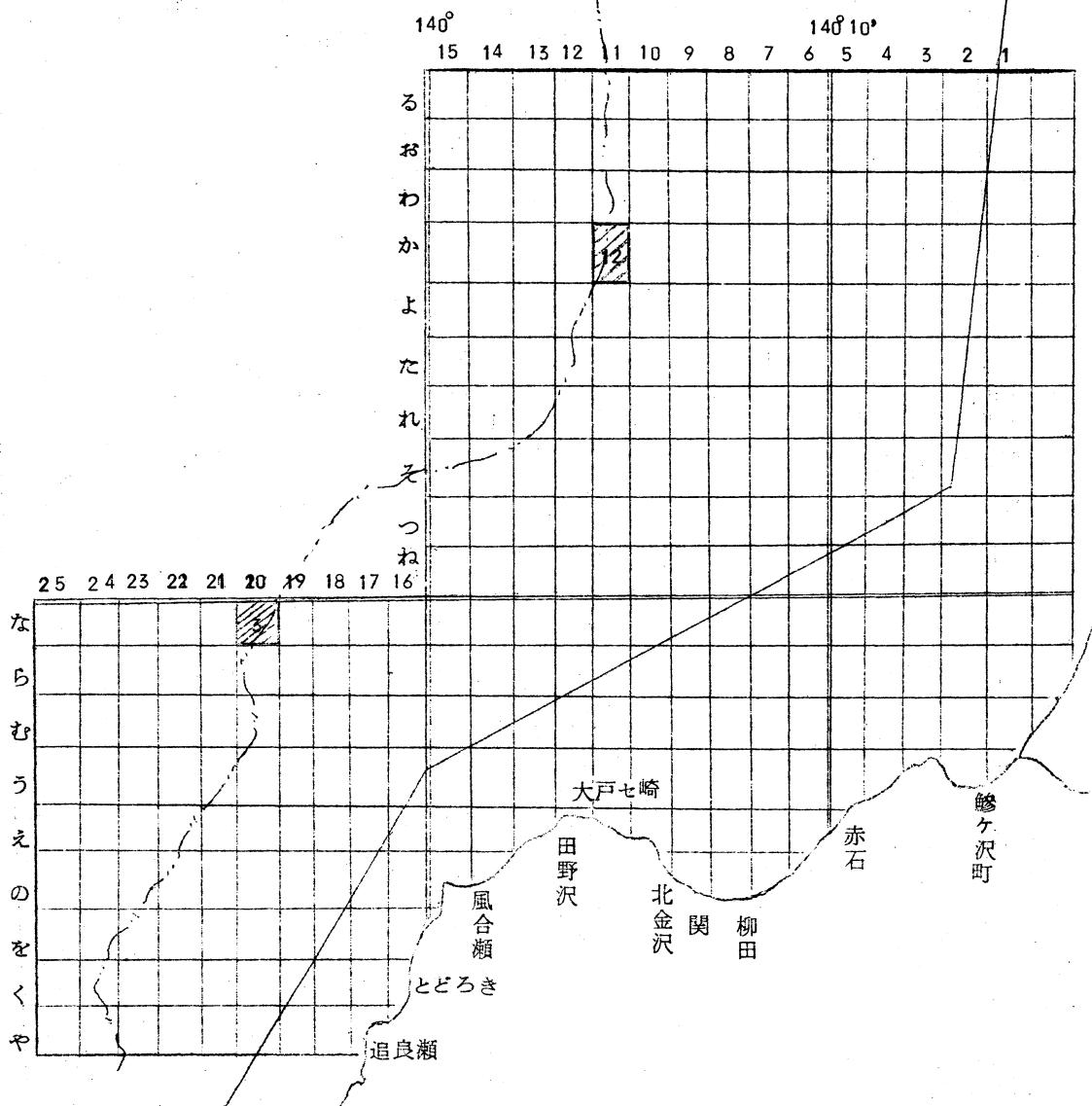
魚種別漁獲高累計	
魚種	数量
タラ	4,670 Kg
アブラツノザメ	241
タコ	84
スケトウダラ	10
ヤリイカ	53
アンコウ	2
小タラ	16
その他	2
計	658.1Kg

N 操業海区および曳網回致図

第 6 表 の 1



第 6 表 の 2



IV 考 察

これ迄の調査で、各漁場における底棲魚族の資源状態を明かにしてきたが、資源変動の要因を明かにする調査研究は余り行われなかつたように思う。即ち、①底棲魚族の生態と環境との関連 ②底棲魚族の分布と適正漁獲努力量との関連 ③底棲魚族の再生産機構等である。

①の解明には、各魚種の生態調査と環境要因把握のための海洋調査を併行しなければならない。②については、これ迄の調査結果と、底曳網漁業そのものの検討が必要であり、③については、各魚種の生態及び発生、移動、加入等精密な調査及び分析を試みねばならない。